

経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 久留米市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.72	100.00	3,740

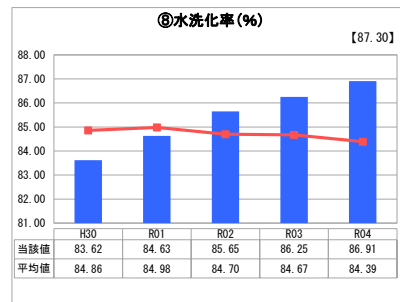
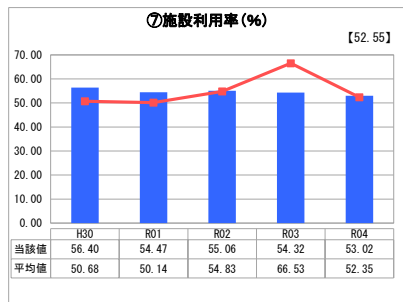
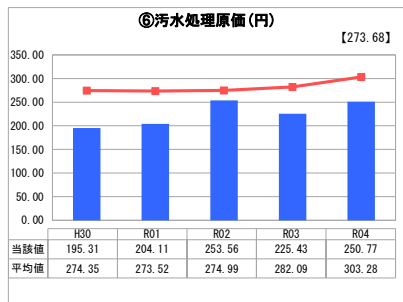
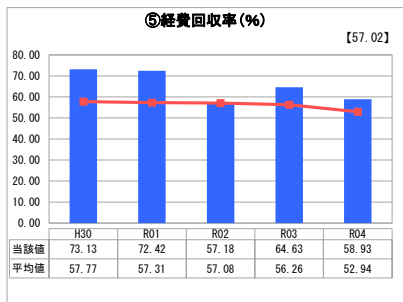
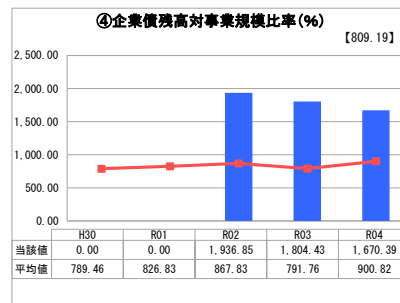
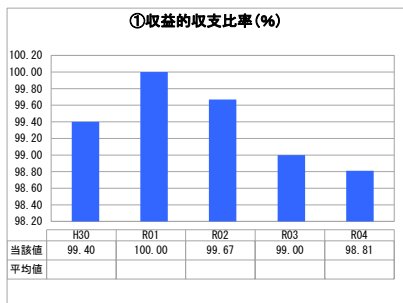
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
302,383	229.96	1,314.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,178	1.93	2,682.90

グラフ凡例

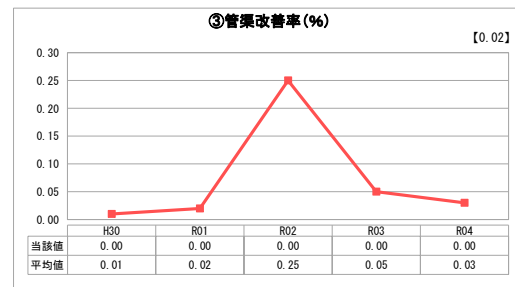
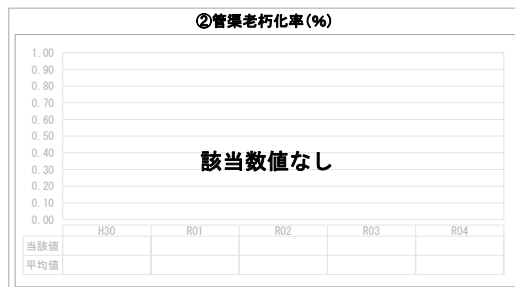
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の農業集落排水事業は、類似団体の平均と比べて、厳しい状況にある。

④企業債残高対事業規模比率
平成26年度まで新規整備を実施し、事業は完了している。この投資財源である企業債の負担が大きいのが年々減少している。

⑧水洗化率
新規区域の供用開始後、接続世帯の増加により、近年は上昇傾向であり令和3年度以降は86%を超えている。今後も水洗化率向上に向け、取り組んでいく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始が最も早い地域で平成10年から供用開始のため、管渠老朽化率は0となっている。しかし、処理場設備については老朽化による更新が必要な時期がきており、今後は更新需要が増加していくものと思われる。そのような中で、令和2年度に策定した中長期的な費用の平準化を配慮した改築計画である「最適整備構想」に基づき、今後の農業集落排水事業の在り方を検討していく予定である。

全体総括

平成26年度まで新規整備を実施してきたため、企業債（地方債）の負担が大きい状況であるが、整備終了後は、健全性・効率性を示す指標は改善傾向がみられるものの、今後も水洗化の向上等の取組みにより更なる改善に努めていく必要がある。

また、将来的には、人口減少により使用料収入の減少が見込まれ、施設の老朽化への対応も必要となってくることから、経営環境は厳しさを増していくため、経営の効率化を進める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。